

後期前半(10月~12月)は、特に「ひらめき」の力を身に付けよう

後期始業式では二つの話をしました。一つは、私は茶道を習っておりまして、秋休み中に茶会があったときの話です。「お運び」の役割を務めようと干菓子や薄茶をお客に運んでいたのですが、そこで大きな失敗をしてしまいました。気付いて水屋(台所)に戻ったところ、先輩方が「緊張したよね。」「私はもっと大きい失敗をしたよ。」と声をかけてくださいました。私は「失敗してよかったな。」と思いました。その理由は二つあり、一つは似たような場面が起きたとき、どうすればよいか判断ができるようになったこと、もう一つは、人が失敗をしたとき、どのように声をかければ再チャレンジしようと思えるのか学ぶことができたからです。このエピソードを話した後、中央っ子へ尋ねました。「みんなは何に挑戦する?」と。始業式にもう一つ話をした内容は、「ひらめきの力を大きくしよう」ということです。子供アンケートや保護者アンケート結果から、まだまだ伸びが期待できる質問項目は、「3ひらめきの力(問題を解決するために考える力)」でした。具体的には、「学習の振り返りをする」「友達の考えを聞き、自分の考えに付け加えたり修正をしたりする」「地域で学んだことをまとめ、発信する」の3つです。中央っ子には「学校目標の『こころざし』『おもいやり』『ひらめき』の3つのうち、特に『ひらめき』の力を大きくするため、挑戦したいことに取り組んでいこう。」と話をしました。すると、校長室前に置いている赤いポストに次のお手紙が入っていました。

中央っ子からのお手紙の
写真

「なやみが
あります。ゆ
うきがでま
せん。どうす
ればいいで
すか。」

回答を書いた手紙の写真

Aさんは、勇気を出したいんですね。さすがAさんは中央っ子です。校長先生は、10/16に「みんなは何に挑戦する?」と聞きました。勇気を出すには「失敗してもいい!失敗OK!という気持ちを持って何かに挑戦してみることが大事。そのために、仲間がいるととってもいいね。校長先生は応援しています。」

子供たちの挑戦の伴走者となるよう、努めていきたいと思いました。

5年生の宿泊学習を通して

10月17・18日に5年生は1泊2日の宿泊学習を実施しました。5年生の成長を日頃から感じていたのですが、この宿泊学習で子供たちがよく言葉にしていたのは、「がんばります!」「助け合う!」でした。学校目標である「こころざし」「おもいやり」の力が一層大きくなった子供たちでした。

